

Mitaka City Library

三鷹市立図書館

図書館だより

平成28年1-3月号

第18号 平成28年1月20日発行

編集・発行：三鷹市立図書館

三鷹図書館(本館)	上連雀 8-3-3	Tel.0422-43-9151
下連雀図書館	下連雀 6-13-13	Tel.0422-43-9159
東部図書館	牟礼 5-8-16	Tel.0422-49-3851
西部図書館	大沢 2-6-47	Tel.0422-33-1311
三鷹駅前図書館	下連雀 3-13-10	Tel.0422-71-0035
南部図書館みんなみ	新川 5-14-16	Tel.0422-76-5571

開館時間：9:30～17:00

※三鷹図書館は9:30～20:00、土・日・祝日は17:00まで

※三鷹駅前図書館は10:00～20:00、土・日・祝日は17:00まで

休館日：毎週月曜日・第3水曜日

※下連雀図書館は毎週水曜日・第1月曜日・祝日

<https://www.library.mitaka.tokyo.jp>

三鷹市名誉市民 津村節子特別展示

作家 津村節子の世界～夫 吉村昭とともに



三鷹図書館（本館）2階

展示ホールにて 開催中

平成27年11月3日、芥川賞受賞作家として多くの作品を世に送り出している市内在住の津村節子さんに、三鷹市名誉市民の称号が贈られました。

多くの受賞作品があり、日本の文学界において卓絶といえる功績をたたえとともに、三鷹市名誉市民の称号が贈られたことを記念し、特別展示を開催しています。

特別展示は、津村節子さんの直筆原稿（三鷹市立図書館所蔵）をはじめ、津村さん著作初版本、太宰治賞受賞作家であり夫である故吉村昭さんの作品紹介も合わせて展示・紹介しています。

展示は、2月2日（火）から内容を追加、変更し、平成28年4月3日（日）まで開催します。

上 展示をご覧になる津村節子さん（1月7日）

下 展示の一部、津村さんの原稿

三鷹市立図書館メールマガジン発刊！ 登録募集中です！

三鷹市立図書館では、利用者の皆様にもっと本や図書館に親しんでいただくことを目的として、メールマガジンを発刊いたします。

図書館からのお知らせのほか、特別号では本の紹介や図書館員のコラム、三鷹関連のレファレンス事例などもご紹介していきます。

現在、図書館ホームページで登録募集中ですので、皆様、ぜひご登録ください。

詳細は図書館ホームページをご覧ください。

<https://www.library.mitaka.tokyo.jp/mailmagazine/>



図書館フェスタ



みんなみフェスタ 開催しました

★図書館フェスタ★

11月1日(日)三鷹図書館(本館)で図書館フェスタを開催しました。図書館サポーターの運営するガーデンカフェでのジャズ演奏や、ビブリオバトル、子どもの本クイズ!などイベントが盛りだくさん!当日は晴れて暖かく、大人から子どもまで楽しめるイベントとなりました。



●本の修理屋さん 実演

壊れた図書館の本の修理を図書館サポーター「本の修理屋さん」が実演しました。



上●一箱古本市
中庭でジャズの演奏を聴きながら新たな本との出会い。

左●ビブリオバトル
みたかとしょかん図書館部!が企画司会進行し、本の書評合戦ビブリオバトルを開催しました。



●おはなし会

ボランティアグループのあずきの会とおはなしどんどこがおはなし会をしました。



●ワークショップ

武蔵野美術大学の学生と図書館が考えた利用カード入れをつくりました。



●こどもの本クイズ

三鷹市文庫連絡会が本に関するクイズを出題。正解するとバルーンがもらえました。

★みんなみフェスタ★

11月22日(日)、南部図書館みんなみでみんなみフェスタを開催しました。アジア・アフリカ語学院の留学生とおはなしどんぐりによるおはなし会、みんなみフェスタ恒例のまなびテラスでのみんなみカフェなどのイベントや、宮崎正勝さんによる講演会「イスラームの飛躍の時代とアラビアンナイト」には53人の参加がありました。



●みんなみカフェ
みんなみサポーターによるカフェ・サービスを行いました。



上●講演会

イスラームの世界についての講演に参加者はみな熱心に聞き入りました。

左●おはなし会
留学生の母国語で絵本の読み聞かせをし、異文化体験ができました。





秋のイベント報告



読書週間 あなたの好きな本、教えて！

10月27日(火)～11月9日(月)



各図書館に来てくれた子どもたちから好きな本を書いたカードを募集しました。

その数、全館でなんと330通！本を紹介する楽しい絵や、一生懸命好きなところを書いてくれた文がたくさんありました。

三鷹市立図書館では、図書館フェスタのほかに、様々なイベントを行いました。その様子をお知らせします。

第21回おとなが楽しむおはなし会

11月6日(金) 昼の部 夜の部



わたげの会、三鷹市文庫連絡会、そして今回からあずきの会も共催になり、昼夜の2部制で開催し、合わせて187人の来場した皆さんが、16人の語り手のそれぞれの世界に魅了されました。

プレママ講座おなかの赤ちゃん和絵本を楽しもう

11月7日(土)

子どもの発達のお話も交えて、おなかの赤ちゃん和絵本を楽しむことについて市内で小児科医師をしている秋山千枝子先生からお話をうかがいました。11人の参加者は、先生のお話を興味深く聞いていました。



三鷹市文庫連絡会講演会 科学の本の楽しみ方

11月19日(木)

科学絵本作家、高柳芳恵さんを講師に迎え、高柳さんの著作「どんぐり穴のひみつ」などをとりあげ、科学絵本の内容について楽しく学びました。48人の受講がありました。



おおさわ学園読書活動の紹介展示

11月19日(木)～12月6日(日)



西部図書館にて、昨年に続き、第七中学校、大沢台小学校、羽沢小学校の子どもから届いた本の紹介カードなど、力作50点以上を展示しました。作品を見た方々からは感動の声が多数寄せられました。

ねこのピートがやってくる！絵本ライブ&トーク

12月19日(土)



翻訳者でミュージシャンの大友剛さんをお招きして、三鷹市文庫連絡会、三鷹市立図書館共催の講習会を開催しました。

歌や演奏、マジックもあり、参加者も一緒に絵本の世界を楽しみました。



図書館員おススメの1冊

『今日も一日きみを見てた』

角田光代著 KADOKAWA 2015
9分類(文学) 914.6カ

「きみ」とは西原理恵子さんから頂いた猫の「トト」。猫との暮らしの中で、作者は驚き、喜び、目を細める。猫が存在することで、いかに生活が色づくものか。心和む写真も満載のエッセイ集。猫が好きな人も、そうでない人にも、疲れた時に広げてほしい本です。

『楽しいこといっぱい65』

栗原はるみ著 扶桑社 2012
5分類(家庭) 590.4

著名な料理家、栗原はるみさんのエッセイです。日々の暮らしや幼い日のこと、大切にしたいことなどがつづられ、著者の丁寧な暮らしがうかがえます。

何気ない毎日をほんの少し輝かせてくれる「楽しいこと」を見つけるヒント満載の一冊です。

『日本人が知らない家紋の秘密』

武光誠著 大和書房 2013
2分類(文庫本) B288.6

「2016年は真田六文銭がくる！」という事でこの本を選んでみました。

この本、家紋名からの紹介ではなく、戦国武将に文豪、果ては「笑点」出演者まで、その家紋を辿り解説している所が面白く、サクッと歴史のお勉強にも。文庫本なので、大切に鞆に忍ばせて、街歩きに出掛けてみては。

『NHK世界で一番美しい瞬間(とき)』

NHK『世界で一番美しい瞬間』制作班編
三笠書房 2015
2分類(歴史) 290.9

海外の情報が身近になり、世界の様々な景勝地を見聞できます。しかし、一番輝かしい時(瞬間)をどれだけ知っているでしょうか。以前、訪れたことがある場所でもその時を知り、新たな感動に出会うかも知れません。また、新たにその場所を知ったことにより訪れたくなるかもしれません。

おひさま文庫

—三鷹市文庫連絡会—

市民活動グループ紹介⑨

市の西部、みずほ幼稚園内にある文庫で、毎週月曜日14時半から15時半まで開庫しています(幼稚園の行事などによりお休みもあり)。

園児の母親が有志で当番を組み、絵本の読み聞かせや紙芝居、折り紙や工作などを行っています。月に1度わたげの会でも活躍されているおひさま文庫の大先輩が素話をしてくださいます。また、年に2回ほど、パネルシアターをスペシャル企画として披露することもあります。代表をはじめ、文庫のメンバーが卒園と共に入れ替わるため、読んだ本などの記録を残すなど引き継ぎやすい仕組み作りを心がけています。常に20人前後の子ども達が集まります。



ある日のおひさま文庫の様子

にぎやかな教室が手遊びなどをはじめたとたんに、ずっと絵本の世界へ引き込まれて行く様子は、いつ見ても嬉しいものです。幼稚園内にありますが、園児以外の近隣の方でも自由にご利用できます。開庫予定が門近くの掲示板に貼ってありますので参考にしてください。(みずほ幼稚園：井口1-22-3)